

宮崎障害者雇用支援センター通信 No.36

平成23年6月発行

〒880-0824 宮崎市大島町北ノ原1030-1
TEL:0985-22-9121 FAX:0985-22-9122

<http://www.miyazaki-koyoukaihatu.com/>
Email:koyou-s@vanilla.ocn.ne.jp

当センターは、平成21年4月から就労移行支援事業へと移行し本年3月末でちょうど2年が経過いたしました。この間の支援実績は、訓練者数29名（現在訓練中の13名を含む）、就職者数11名となっています。本県では、度重なる自然災害等により一段と雇用情勢が厳しさを増すなか、障害のある方の一般就労を叶えることができましたのも、ひとえに関係する皆様のご理解・ご協力の賜と深く感謝申し上げます。昨年度は、施設外支援、いわゆる職場での実践的な実習を強化し、現在も訓練生5名がトライアル雇用として現場で頑張っています。

本年度は、新たな取り組みとして、6月1日付で第1号職場適応援助者（ジョブコーチ）を1名配置いたしましたので、障害者職業センターと連携して就労後の定着支援に努めてまいります。また、就労中の障害者に対する基礎訓練を実施することも計画しておりますが、これらの事業は、障害者が単に就職できるだけでなく、長く働き続けられることを実現するための方策ですので、関係機関と連携を取りながら推進してまいります。当センターでは、今後も職業準備訓練を通じて、様々なかたちで障害者への就労支援をしてまいりますので、よろしくお願いいたします。



1日体験作業に行ってきました 実際の作業現場ってどんなカンジ？

2月15日、訓練生5名が職場見学を兼ねて体験作業に行ってきました。

(有)山洋製作所様（宮崎市）が受け入れをして下さり、自動車部品製造の作業工程を実際に体験しました。

訓練生5名が流れ作業で、部品300個を製作しました。小さな穴に6つの色に分けられた電線を通す作業。単純作業ではあるものの手先を使う細かな作業で、集中力が必要です。休憩をいただきながら取り組んだものの、やり終えた際は「疲れたー!」との声。でも職員の方には1人で1日に約1000個も作成される方がいるとの話に訓練生は、びっくり!

作業終了後に訓練生は、仕上げた部品がどのような作業工程に引き継がれ、製品となっているのか説明を受け、実際に工場内を見学させていただきました。

今回参加した訓練生は、実際の作業現場を体験し、業務中の職員の姿を見せていただくことで、職場の雰囲気を感じ、就職に向けてさらに意欲が湧いてきたようです。

現在、気持ちを新たに、目標に向けて訓練をがんばっています!!



体験実習の様子。
職場初体験の
訓練生も!



就職しました！

施設内訓練での評価や、本人・保護者の希望を熟考し職場実習へと進みます。実習では、作業内容はもちろん、通勤手段の確認も大切です。実習期間に課題解決に取り組み見事就職へと繋がった訓練生をご紹介します。(H22年12月～H23年6月末の様子です)

Yさん(知的障害) 就職日:2月1日
職種:清掃作業(週25時間勤務)

Yさんは通所して1年8ヶ月。自宅からセンターまで休むことなく自転車で1時間かけて通所してきました。自宅周辺は事業所も少なくなかなか実習の機会にも恵まれませんでした。実習先の選択肢を増やすため、アビリンピックに参加を目指してメンテナンス作業をカリキュラムの中に取り入れしました。

昨年のアビリンピック県大会ビルクリーニングで銅賞入賞を果たしました。昨年11月より実習が開始となり、ポリッシャー操作が得意なYさんのためお店でポリッシャーを購入していただきました。シャイなYさんは元気よく挨拶すること、判らないことを聞くことと作業のスピードアップアップが課題です。

厳しい寒さの中2ヶ月半の実習期間を欠勤も遅刻もなく自転車で通勤。

頑張ったお陰で無事就職を勝ち得ました。

モワ'作業中のYさん



スピードと挨拶が課題です

Nさん(身体障害) 就職日:4月1日
職種:返品作業(週24時間勤務)

Nさんには聴覚に障害があります。通所して1年7ヶ月。保護者の紹介で事業所見学に行ったところに採用が決定しました。

自動車運転免許は所持していますが、運転に自信がありませんでした。自力通勤をするためトライアル雇用開始日まで通勤訓練を行いました。また、健康・体力面が課題のため、体力作りカリキュラムを実施しました。トライアル雇用開始後もセンターに週1回は通所して課題解決に挑戦しています。

5月には自転車も購入して事業所までの片道8kmの通勤をしようと意欲満々です。早く梅雨が明けて欲しいものです。



指導担当者より説明を受けているNさん

Hさん(知的障害) 就職日:4月4日
職種:部品組立作業(週30時間勤務)

細かいことは苦手であるが、決められた事は、気持ちが先走るくらい行動にでしてしまうHさん。そんなHさんは、毎日休まず訓練を重ね自動車部品の組立作業の仕事に就くことができました。

仕事場は班編成されており、その中の一員として、従業員の方に教えてもらいながら一つずつ覚えていきます。小さい部品を一つずつ掴み、決められた穴へ埋めていく細かい作業は、Hさんにとっては、一苦労。作業に慣れてきた最近でも不良品を出さないように、作業効率を上げることに集中して行っています。

努力家のHさんガンバレ！



Mさん(知的障害) 就職日:12月1日
職種:部品組立作業(週40時間勤務)

Mさんは1年8ヶ月 訓練を行いました。毎日、電車を利用し、無遅刻・無欠席で通所する事ができました。

作業面だけではなく、就労に必要な生活習慣の改善も必要であったMさん。身だしなみについては、入所当初はこだわりがありましたが、現在は社会人としての意識が身についているようです。

作業以外にも「アビリンピック出場」や「行政実習」等の経験を通してステップアップできたのではないのでしょうか。

自宅近くの部品製作所に採用が決定し、半年が経過しました。確認不足が現在の課題のようです。

気を引き締めなければいけない時期。がんばれ、Mさん！



Nさん(精神障害) 就職日:4月16日
職種:仕分け作業(週25時間勤)

1年間毎日延岡市から電車で2時間かけて通所し、訓練を頑張ったNさん。

昨年の11月から実習を3度に分けて行いました。午後からの仕事ですが、午前中は手伝い、減量のための運動等を行い生活リズムも整っています。

初めて実習に行った時は、作業スピードやコミュニケーションに課題がありましたが、徐々に作業スピードもあがっています。

現在では、メール便だけでなく、荷物の仕分け等も自ら積極的に取り組んでいます。

これから、どんどん暑くなり汗かきのNさんには辛い季節になりますが、事業所からの評価も高く、本人もやる気になっているのでこれからも頑張ってくれと思います。



いさん(知的・精神障害) 就職日:4月22日
職種:青果袋詰め作業(週25時間勤務)

緊張度が高く、コミュニケーション面に課題のあるいさん。センターではたくさん経験の積んでもらいたいと思い、体験実習1ヶ所・職場実習3ヶ所・アビリンピック県大会出場と色々な事に挑戦しました。

毎日センターへ休まず車で通所できたいさんですが、1回目の職場実習では緊張と不安で車の運転も難しく、指導員と通勤訓練から始めました。現在の職場では、出勤初日から問題なく運転できました。

仕事はセンターでの訓練種目にもあるバッグシーラー作業のため、負担が少なく楽しく働いているようです。

しかし、作業スピード等まだまだ課題があります。

事業所の方からの指示を受入さらに成長してくれると思います。



Nさん(知的障害) 就職日:4月21日
職種:洗浄作業(週30時間勤務)

Nさんは、雇用支援センターに通所しながら、病院にも定期的に通院し、自身の特性と上手く付き合いながら、長い期間をかけて訓練を行ってきました。就職に焦りを感じていた時期もありましたね。しかし事業所にて3月に9日間の実習を行い、現在、トライアル雇用として採用していただきました。

食品に携わる仕事ですので、衛生面には特に気を配らないといけません。責任感の強いNさんは徹底して衛生管理に努めているようです。

時々、自己判断で行動してしまう事がありますね。「報告・連絡・相談」は合言葉!!
イキイキと仕事をしている姿はとても「カッコイイ」ですよ。ファイト!



就職ってどんな感じ…!?教えてTさん

修了生、Tさんが遊びに来てくれました。

Tさんは、21年4月に自動車販売業に就職。

毎日洗車作業を頑張っている事、休日には趣味の釣りを楽しんでいる事など、笑顔でたくさん報告してくれました。

聴覚障害のあるTさんは、コミュニケーション問題等で就労したばかりの頃は、退職も考えた事がありました。今は、職場の方ともよい関係を築いて充実した日々を送っている事が、話しや表情から伝わってきました。

「又遊びに来るね」と言っていたので、次は訓練生に仕事の話しをして欲しいなと思っています。

自慢のルアー。
仕事も余暇も充実しているようです。
頼もしい!



平成22年度(H22.4.1~H23.3.31) 職場実習などのご報告

職場実習実施 14件(のべ384人日) 同行支援 121回

トライアル雇用 2件(のべ125人日) 同行支援 14回

☆ご協力いただいた事業所のみなさま、ありがとうございました☆

健脚訓練を行いました

就職には体力も必要です。当センターでは「体力づくり」訓練も導入しており、例年2回にわたり健脚訓練を実施しています。フリートキングにおいて訓練生が主体となってコースや

平成22年12月17日(金)
距離20km (参加:訓練生11名、指導員4名)
航空大学校

1回目は、センターから航空大学校までの往復約20kmを歩きました。20kmという距離はまだ誰も経験したことはありません。

始めは笑顔も見られ、会話も弾んでいた訓練生も徐々に険しい表情に。しかし、訓練生同士で歌を歌ったり、励まし合いながら目的地である航空大学校に予定時刻の11時半には到着。

大学校側の配慮により施設内見学・昼食休憩をさせていただき、飛行機を間近で見学、展示機にも乗ることができた訓練生は疲れもふっとんだ様子!! 目を輝かせていました。また、学生の方々の歩く姿勢の美しさや気持ちのよい挨拶に刺激を受けたようです。「自分たちも見習わなければ!」そんな声が聞かれました。

師走の風は冷たかったけれど怪我や事故も無く、全員が20kmを完歩!!
ウォーキングやトレーニングの成果が発揮できたのではないのでしょうか。



まだまだ元気



展示機搭乗



大合唱中♪

平成23年3月7日(金)
距離22km (参加:訓練生11名、指導員5名)
生目の杜運動公園・古墳群～大淀川周回コース

前回実施した健脚訓練の振り返りでもっと長い距離に挑戦したいとの声が挙がり2回目は若干だけ距離を伸ばしました。

建物塗装工事中のため研修室で出発式を行いました。途中休憩の公園には山桜が咲いて、平和台大橋より遠く新燃岳の白い噴煙を眺めることができました。運動公園では東京大学の野球部が合宿中。丁度疲れを感じ始めた頃、天下の秀才達のボールを追う掛け声に元気をもらい昼食場所まで一踏ん張り。昼食後は古墳群を一周。悠久の歴史と古人の生活をしばし冥想。

帰路は大淀川の右岸を春風を感じながら疲労と戦いながら歩きました。歩きました。センターまであと500mとなった新別府川の堤防が普段より長いような短いような感じをしながら遅くゴール。



大淀川右岸 疲労との戦



運動公園にて

栄養会も行いました

昨年に引き続き、今年も楽しく、自立への訓練と就労意欲の向上の目的で栄養会を行いました。

皆で話し合い、メニュー決めから行いました。それぞれ食べたいメニューをプレゼンし、『焼そば』を作る事に決定!!

普段包丁を使わない訓練生は、ドキドキのクッキング。具材の切り方は、それぞれの個性が出ました。「自分たちで作る事ができる!!」と思い作る事に決めましたが、実際クッキングすると難しい。頑張って作った焼そばを皆でおいしくいただきました。

最後に今年の抱負発表。「責任を持って作業に取組み実習・就職できるようにする」等それぞれ、就職・自立に向けて自分の抱負をみんなの前で宣言。

指導員はみんなの抱負を聞き、今年も多くの訓練生がセンターを巣立っていくのが楽しみになりました。



☆☆ 新入職員紹介 ☆☆



4月から指導員として勤務し2か月経ちました。社会人として必要なマナー等訓練生に指導をしながら日々私自身も勉強中。一人でも多く訓練生を就職させるために、精一杯頑張っています。

指導員 池 源太

センターの活動の様子、感じてもらえましたか? 就職に至るまでの課題克服の様子が紙面の都合でお伝えすることができずに、残念です。修了生のみなさん、やっと揃った就職です! 長く働き続けられるようセンターでは、定着の応援も続けていきます。がんばりましょう。また、センターでは、本人・支援者からだけでなく、事業所からの障害者雇用についての相談も受けています。

学校関係者・各種保護者会等からの見学を多数いただき、訓練の様子知っていただいています。“百聞は一見に如かず”興味のある方は、是非、見学されてはいかがでしょうか。



全ての連絡は、こちら

☎0985(22)9121

